

眼科 診療体制縮小のお知らせ

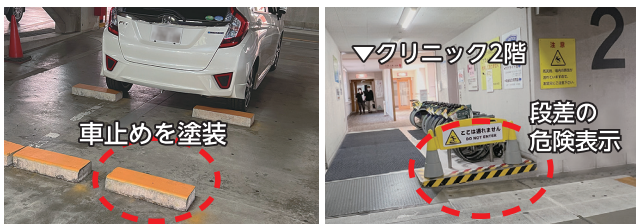
眼科医不足のため、当面の間、診療体制を縮小せざるを得ない状況となりました。救命救急センターでの眼科対応を休止させていただくほか、眼科外来についても診療枠を縮小して対応しています。眼科疾患で受診を予定されている方は、まずはお近くの医療機関の受診をご検討ください。

ご不便をおかけいたしますが、診療体制の立て直しに向けて全力で取り組んでおりますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

立体駐車場 転倒にご注意ください

亀田クリニックに隣接する立体駐車場（パーキング棟）内で、歩行中に車止めや段差に気づかず転倒する事例が発生しています。

一部の車止めを目立つ色に塗装したほか、2階のエレベーター・車いす置き場の段差もカラーコーンや危険表示テープで注意を促し、スロープ側を通行いただくよう対策しました。



駐車場内は車の往来があるため、二次被害を防ぐためにも、以下のことにご注意ください。

《転倒予防のポイント》



- 1 焦らず、急ぐ時ほど落ち着いて行動
- 2 「ながら歩き」をしない
書類を見たりスマホを操作しながら歩いていると、周囲に対する注意力が低下し、人や物にぶつかって転倒する危険があります
- 3 ポケットに手を入れて歩かない
転倒した時とっさに手が出ず、頭を強打するなど、重症を負う可能性が高くなります
- 4 横断する時はしっかり止まって左右を確認

新型コロナワクチン追加接種 WEB予約は6月1日から

重症化リスクが高い方を対象に、新型コロナワクチンの追加接種（2023年春開始接種）を6月23日（金）から亀田クリニックにて行います。（接種費用は無料）

ワクチン準備の都合上、**接種は完全予約制**です。6月1日（木）から当院ホームページ上で受け付けを開始いたしますので、接種を希望される方はお申込みください。※電話での予約対応はいたしません。

| | | |
|--------|--|--|
| 接種日時 | 6月23日（金）、6月30日（金） 7月7日（金）、7月14日（金） 14:00～（定員176名/日） | |
| 接種対象 | 1・2回目接種を終了した ・65歳以上の方 ・12～64歳の基礎疾患を有する方 ・医療従事者・介護従事者等 ※上記に加えて前回接種から3か月以上が経過していることが接種条件です | |
| 使用ワクチン | オミクロン株対応2価ワクチン（モデルナ） | |
| 予約方法 | WEB予約のみ 詳しくは亀田クリニックのホームページをご覧ください | |

ユニクロ UNI QLO 亀田総合病院店 5.28(日)OPEN!

5月28日（日）、ユニクロ亀田総合病院店（営業時間10:00～19:00）がオープンします。同店舗では人気アイテムを中心に、メンズ、ウィメンズ、一部キッズの品揃えを展開予定です。



【駐車場について】ユニクロ店舗周辺には、専用駐車スペースはございません。病院駐車場をご利用いただくこととなりますが、平日昼12時までは外来患者さまを優先といたします。なお、土日・祝日に関しましては、一定額以上ユニクロ商品を購入していただいた方には駐車場代無料サービスを予定しております。



第10話 バスキュラーアクセス(後編)

皆様こんにちは。腎臓高血圧内科の松波昌寿と申します。前回に引き続き、バスキュラーアクセスについてご紹介したいと思います。

前回、「バスキュラーアクセス(vascular access)」とは、血液透析を行う際に、血液を脱血、返血するための出入り口(アクセスルート)のことで、大きく分けて動静脈短絡を伴うもの(自己血管内シャント、人工血管内シャント)と、動静脈短絡を伴わないもの(動脈表在化、中心静脈カテーテル)の2つに分類されるという話をしました。各バスキュラーアクセスの特徴を熟知し、大切に使用することが重要です。[\[前回はこちら\]](#)→



透析患者のバスキュラーアクセス割合

日本透析医学会の統計調査委員会の報告では、2015年末において、本邦の血液透析患者さまのバスキュラーアクセスの割合は、自己血管内シャント84%、人工血管内シャント9%、動脈表在化3%、中心静脈カテーテル3%となっており、自己血管内シャントの割合が圧倒的に高くなっています。しかし、近年では血液透析患者さまの高齢化や血管荒廃症例の増加から自己血管内シャントの割合が低下し、人工血管内シャントの割合が増加しています。

バスキュラーアクセスのトラブルとその治療

シャントに使用した静脈は、過剰な血流や、日々の透析での穿刺・止血の繰り返しにより、次第に狭窄していきます。血管狭窄は、シャント静脈の閉塞や脱血

不良などを引き起こし、血液透析の継続が難しくなります。

血管狭窄に対する治療として、経皮的血管拡張術(percutaneous transluminal angioplasty : PTA)があります。近年は、vascular access intervention therapy (VAIVT) とも呼ばれています。PTAとは、血管内の狭窄部にバルーンカテーテル(カテーテルの先端に小さな風船がついたもの)を挿入し、風船を膨らますことによって狭くなった部位を内側から拡張する治療です。なお、シャント静脈が閉塞してしまうと、PTAでの治療は難しく、外科手術での血栓除去や血管形成、シャント再建術が必要となります。



正常な血管



狭窄部位ができ血管が詰まる



バルーンカテーテルを血管の内側で膨らませ狭窄を改善する

血液透析患者さまにとって、バスキュラーアクセスは血液透析を行うためになくてはならない命綱と言えるものです。長持ちさせる秘訣は「狭窄・閉塞」「感染」「出血」などを予防することです。そのため、バスキュラーアクセスをいかに長持ちさせるかということが生活の質(quality of life : QOL)向上に関わる大切な問題となります。

生活の質向上のために!!



医師紹介

おおつか こうじ 医師
大塚 康二



- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言

- ①産婦人科
- ②産婦人科全般
- ③犬の散歩、サーフィン
- ④患者さまの心に寄り添う医療を行うように心がけています。何でも相談してください。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>